

関係各位

2022年10月

公益財団法人 博報堂教育財団

常務理事 中馬 淳

第18回 児童教育実践についての研究助成
応募締切り間近のお知らせ

拝啓 秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査研究を行うことで、児童及び青少年の健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に設立されました。

以降、「子ども・ことば・教育」を活動領域にとらえ、さまざまな活動を行っています。

50回を超える開催となった児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」に加え、「世界の子どもたちの日本語交流」「社会啓発事業（子どもたちの読書機会拡大）」「海外で日本語教育や日本文化の発展に関わる方々の研修・顕彰」さらに「こども研究所」などの活動を行っています。

現在、第18回「児童教育実践についての研究助成」の応募受付中です。

締切りが近づいてまいりましたので、再度ご案内させていただきました。

「ことばの力」を育む研究と児童教育実践の質の向上を目的に、大学、研究機関および教育実践に関わる方を対象にすぐれた研究を助成しています。新しい視点をもつ研究成果が、実践の場で反映、継続され児童教育の基盤が充実していくことが期待される研究を主に助成しています。

ご応募は、Webにて受付しております。詳細は当財団のホームページに記載しておりますので、ぜひご覧ください。

末筆ながら、皆様の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

応募締切：2022年10月31日（月）

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/subsidy/>

（応募要項やチラシのPDFをダウンロードできます）

<お問合せ先>

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14F

公益財団法人 博報堂教育財団 研究助成事業係

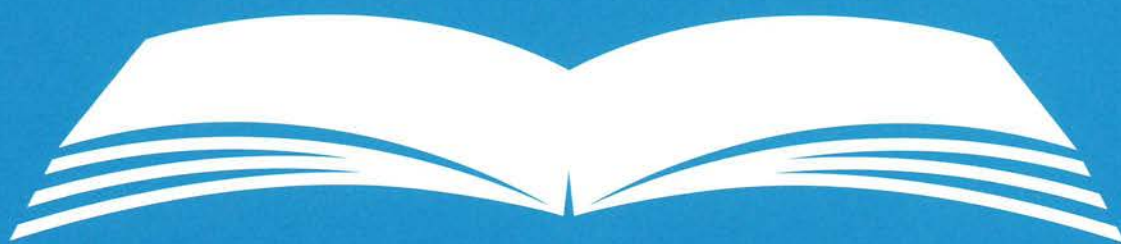
TEL 03-6206-6266 FAX 03-6206-6582

URL: <https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

第18回

児童教育実践 についての 研究助成

ことば、まなび、おうえん



—— まもなく受付終了 ——

2022.7.1 Fri. ▶ 10.31 Mon.

博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

「ことばの力」を育む研究と児童教育実践の質の向上を目的に、

大学、研究機関および教育実践に関わる方を対象にすぐれた研究を助成しています。

新しい視点をもつ研究成果が、実践の場で反映、継続され

児童教育の基盤が充実していくことが期待される研究を主に助成しています。

対象となる研究

「ことばの力」を育む研究

- 国語・日本語教育の諸分野における研究
- あらゆる学びの場におけることばの教育に関する研究

児童教育実践の質を向上させる研究

- 多様な場における教育実践の質を向上させる研究

※対象は小・中学生となります。ただし、児童教育への反映が明確な場合に限り、幼児教育、高校生に関する研究も可とします。

応募資格

日本の学校・教育委員会に所属する 教育実践に携わる方

- 教諭、指導主事、相談員、特別支援教育の支援員など

日本の大学・研究機関に所属する研究者

- 准教授、講師、助教、博士課程の院生など
若手支援のため、教授やそれに相当する職は除く

※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です。

助成期間

2023年4月1日から1年間または2年間

※2ヵ年助成の場合は1年経過時に中間報告の必要があります。

助成金額

1ヵ年助成: 1件につき200万円を限度に助成します

2ヵ年助成: 1件につき300万円を限度に助成します

応募受付期間

2022年7月1日(金)～10月31日(月)

採否通知

2023年2月下旬～3月上旬頃

審査委員

米田 英嗣 青山学院大学 准教授
針生 悦子 東京大学大学院 教授
藤野 博 東京学芸大学大学院 教授
藤森 裕治 文教大学 教授 (審査委員長)
横山 詔一 国立国語研究所 教授

(五十音順)



Webにて応募受付、詳しくは
博報堂教育財団ホームページを
ご覧ください

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation